NEW
ゼットソー レシプロ
解体用210
解体用285
バイメタル
絶賛発売中!
木材に打ち込んである釘や窓枠の
アルミサッシも楽々切断
土壁解体！
天井解体！
ゼットソーレシプロ
使用映像配信中！
ゼットソーレシプロ 解体用 210 3枚入　標準価格（税別） ¥2,210
ゼットソーレシプロ 解体用 285 3枚入　標準価格（税別） ¥2,450
カタログをご希望のお客様はメール又はFAXにて
【ご希望の枚数】を明記の上お知らせ下さい。
株式会社岡田金属工業所
ゼット販売株式会社
〒673-0404 兵庫県三木市大村 561番地
TEL.0794-83-3111 FAX.0794-83-5111
URL http://www.z-saw.co.jp
E-Mail sales@z-saw.co.jp

Customer's Value Up
～お客さまの商品価値向上をめざす～
省エネ・高精度・環境対応
電動サーボプラスチック射出成形機
SMART MOLDING
Si-6series
電動サーボダイカストマシン
SMART DIE-CASTING
Ds-EXseries
TOYO東洋機械金属株式会社 www.toyo-mm.co.jp
本社・工場 〒674-0091 兵庫県明石市二見町福里523-1
TEL.078-942-2345（代表） FAX.078-943-7275
支店：関東 / 関西 / 中部 / 埼京 / 北関東 / 西日本
営業所：全国 9ヶ所　海外ネットワーク：58ヶ所
電動機をつくりつづけて 30+years そして明日へ

地域経済、前向きな循環芽吹く

全国に比べ回復が遅れている印象のあった兵庫・神戸経済が輝きを取り戻しつつある。これまで先行してきた公共投資や個人消費の伸びに加え、2014年に入って雇用や賃金、設備投資が回復。大企業を中心とする好調な企業業績を背景に、景気に前向きな循環が生まれてきた。今後は中小企業への景気回復の波及効果がどこまで広がるかが焦点となる。

兵庫県内の上場大手 好調な業績をキープ

□■□

日銀神戸支店は9月上旬、兵庫県内の景気判断を「消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には回復しつつある」として据え置いた。天候不順の影響で回復ペースは鈍化しているものの個人消費は着実に持ち直しており、労働需給や賃金が改善していることなどを判断材料とした。

また、神戸港からの輸出金額は8月まで5カ月連続で前年同月を上回り、県内の生産・出荷動向も総じて回復傾向を示している。そうした中、県内の上場大手は引き続き好業績を上げている。

神戸製鋼所の14年4―6月期売上高は製造業向けや復興関連の需要が堅調で前年同期比6・3%増の4447億円となり、消費増税に伴う反動減は軽微だった。さらにここ数カ月で、中国や米国、メキシコなど海外で自動車向け材料・部品の生産能力増強、製版合弁会社設立を矢継ぎ早に決定。事業拡大への布石を打ち続けている。

川崎重工業も14年4―6月期売上高は航空宇宙、ガスタービン、機械セグメントが好調で、前年同期比7・6%増の3041億円となった。同社は米ボーイングの中型旅客機「787」に続き、次世代大型機「777X」の開発・量産プロジェクトへの参加が決まり、当面は航空分野の大型投資が続く。加えて国内の造船2工場への大型投資も計画している。

さらに8―9月に中間決算を発表した上場企業の中には過去最高業績を更新した企業が相次いだ。住友ゴム工業の14年1―6月期売上高は前年同期比9・5%増の3786億円で、各利益ともに半期で過去最高。主力のタイヤで消費増税による駆け込み需要を取り込んだほか、中国で新車用の販売を拡大した。

ノーリツとトーホーはそれぞれ14年1―6月期、14年2―7月期の売上高が初の1000億円台に到達。ノーリツは13年7月に買収した中国の給湯器メーカーの寄与が大きく、トーホーは関東で力を入れる業務用食品卸会社の買収効果が出た。積極的な規模拡大が功を奏した格好だ。

米ボーイング中型旅客機「787」の胴体生産に用いる川崎重工業の世界最大級オートクレーブ（複合材硬化炉）

中堅・中小回復いまだ
兵庫県内 一部調査で明るい兆しも

□■□

中堅、中小企業は大手に比べ依然回復が遅れている。日銀が6月に実施した全国企業短期経済観測調査（短観）で、兵庫県内の中堅、中小企業の業況判断指数はいずれも全国水準に比べ約10ポイント下回った。特に中小の業況判断指数はマイナス圏を脱しておらず、厳しい状態が続いている。

ただ、ひょうご産業活性化センターが実施した14年4―6月期の中小企業経営動向調査からは先行きに明るさも見えている。同調査は県内の中小製造業300社を対象に3カ月ごとに実施。今回は62・7%の188社が回答した。

14年4―6月期は操業割合が「80%以上」は81・4%と14年1―3月期比横ばい、受注残高は「1カ月超」が同4・8ポイント減の45・2%となり、消費増税後の反動減による影響がうかがえる。一方、資金繰りに好転の兆しが見え、受注単価は持ち直し傾向に転換。今後の受注見通しについて不透明感が和らいでいることも分かった。

こうした先行きの明るさから設備投資を実行する中小企業も増えている。木型メーカーの昭和製作所（神戸市長田区）は1500万円をかけて本社工場に3台目のマシニングセンターを増設。近年主力に育った自動車シート用マスターモデルの仕事が忙しいのに加え、「造船向けの仕事が戻ってきている」（奥野成雄社長）ことから投資を決めた。

廃畳リサイクルの西日本ファーム（兵庫県姫路市）は廃畳の稲わらでできた固形燃料を実用化し、5000万円を投じて本社工場に量産設備を導入した。同燃料は業界で不足気味の製鋼副資材として使えるため、設備導入以来商社などから問い合わせが相次いでいるという。

兵庫県内では大企業から中堅、中小企業へと業績回復の恩恵が広がっている。ただ、中小企業への波及は始まったばかり。業種や地域によって、しばらくは企業ごとの回復実感にバラつきが出そうだ。

西日本ファームが開発した廃畳の稲わらでできた固形燃料、製鋼副資材として利用できる

都市型データセンターを起点に
さまざまな情報サービスの
提供を通じて
お客さまのIT化を支援します。
三井住友銀行グループ
さくらケーシーエス
www.kcs.co.jp

川崎重工グループは「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する"Global Kawasaki"」という理念のもと、広範な領域における先端技術と、その総合力で、地球環境との調和を図りながら、持続可能な未来社会の実現に向けて、新たな価値を創造しています。陸・海・空はもとより、宇宙や深海にまで及ぶ製品・システムは、その成果といえます。川崎重工グループは、これからも自らのテクノロジーをより高いレベルへと磨きつづけ、人と地球へのやさしさを次々にカタチにしていきます。
イラストは右上から ◎産業用ロボット ◎新型高速鉄道車両 efSET ◎油圧ポンプ ◎ボーイング787 ドリームライナー ◎ホイールローダ、左上から ◎モーターサイクル ◎セメントプラント ◎LNG船 ◎発電用ガスタービン ◎発電用ガスエンジン
Kawasaki
Powering your potential

技術で世界を輝かせる。

世界が求めるニーズはより多様化し、複雑に進化し続けています。
私たちはその一つひとつの声を叶えるために、技術を磨いてきました。
そのなかで培われた、世界をリードする素材・機械ビジネス。
私たちは、いち早くニーズに応えるというだけでなく、
技術で驚きや感動を与えることを大切にしています。
私たちがつくる、より強くしなやかな素材から、新たな価値が生まれる。
私たちがつくる、より低燃費の機械が働くことで、ある国の礎が築かれる。
私たちは技術で社会や人を繋げ、より輝く世界へと、導いていくために、
挑み続けていきます。
http://www.kobelco.co.jp/
KOBELCO